

2023 WMH Asian Continental Cup Hong Kong

フィジオ活動報告書



期間：2023.11.20～11.26

会場：香港フットボールクラブ スタジアム・3

報告者：河西 紀秀

フィジオ：河西紀秀・柘岡智之・雨宮秀巨

関係者各位

師走の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご厚情を賜り、心から感謝しております。

第6回アジアカップ(2023/香港)中における、トレーナー活動報告をさせていただきます。今大会には日本選手団4チームがエントリーし、61名に及ぶ選手が登録され競技に挑まれた。大会期間中にトレーナーが対応した選手数は延べ201件に上った。

特に50～60代のカテゴリーでは軟部組織損傷を疑う選手が多く、対応に苦慮する場面が少なくなかった。また過密な試合スケジュールの合間を上手く利用し、疲労回復を目的として、一部の選手ではあるが積極的にコンディショニングの維持を図るためリカバリーを実践されていました。今後も選手自らがリカバリーを実践し、コンディションを良好に保つための取り組みを促していきたい。又、大会期間中に怪我により負傷した数名の選手は日本に帰国後、医療機関での治療に専念されているとの連絡を受けた。それぞれが競技復帰に向け1日も早い回復を願う。

今大会では日本選手団のフィジオとして3名が帯同し、主に応急処置、テーピング、ストレッチ、マッサージ、ウォーミングアップ、クールダウン、ベンチワーク、ホテル内でのケアなどを実践した。

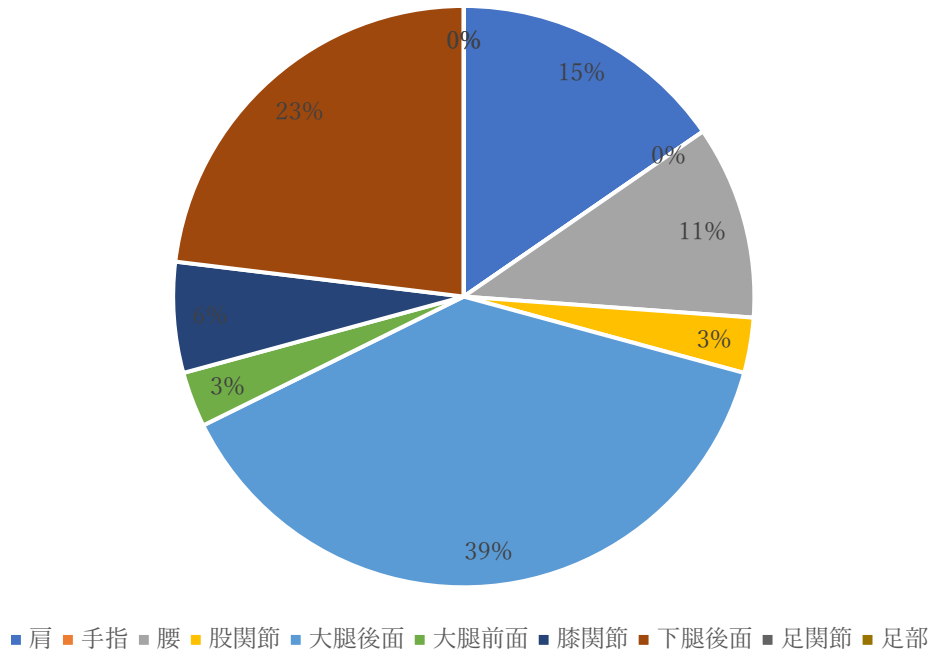
この3人のフィジオは2022WMH マスターズホッケーワールドカップ(2022/東京)に引き続き帯同となった。経験豊かなトレーナーであり、競技会場ではスムーズな連携が図れ、選手への対応が滞りなく可能であった。

最後に大会前からお世話になった日本ホッケー協会(マスターズ部会)をはじめ、多くの大会関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

敬具

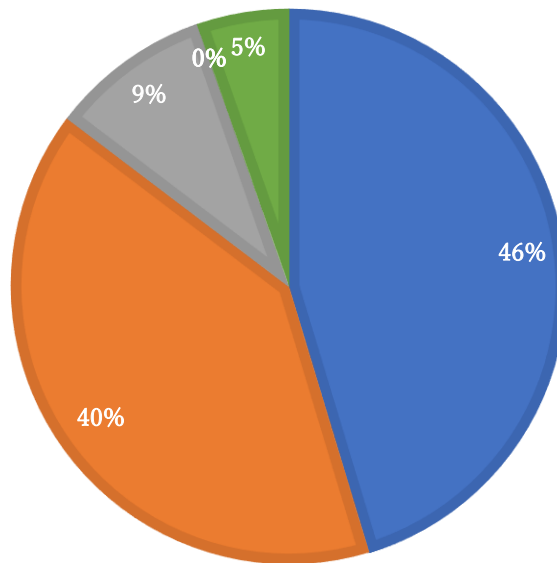
令和5年12月7日
JSPO-AT 河西紀秀

50+ 部位別,対応件数 (65件) の割合



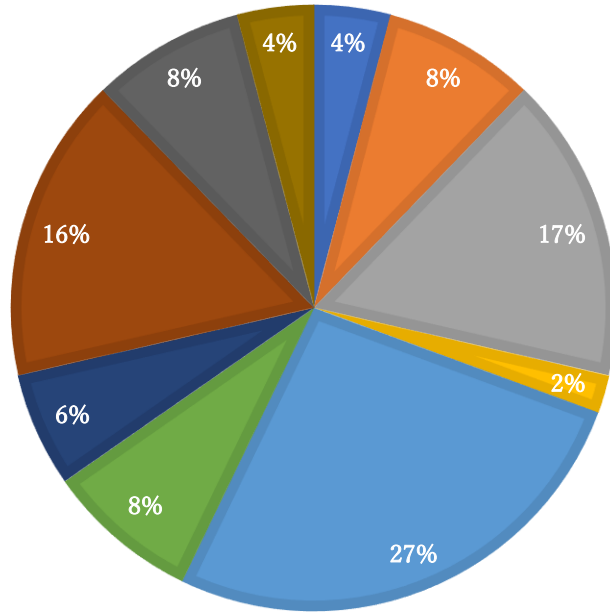
50+ 処置内容

■テーピング ■ストレッチ ■アイシング ■創処置 ■物理療法 ■傷害相談



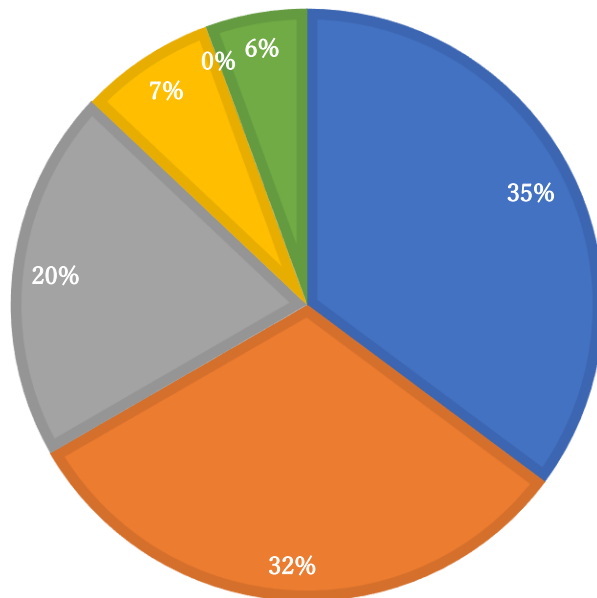
60+ 部位別,対応件数 (49件) の割合

■肩 ■手指 ■腰 ■股関節 ■大腿後面 ■大腿前面 ■膝関節 ■下腿後面 ■足関節 ■足部



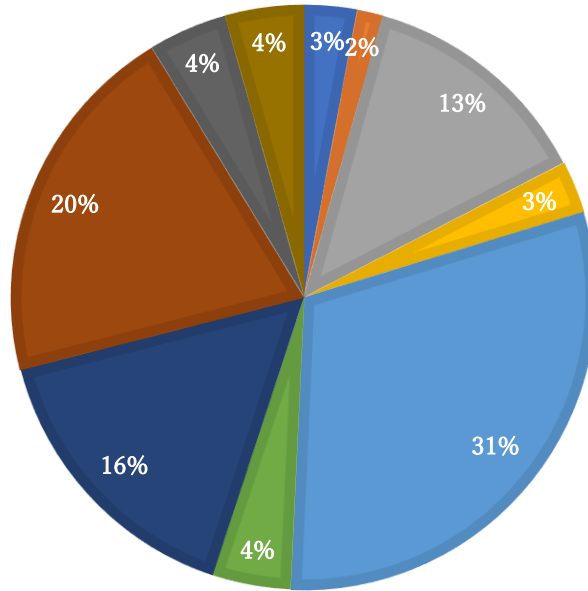
60+ 処置内容

■テーピング ■ストレッチ ■アイシング ■創処置 ■物理療法 ■傷害相談



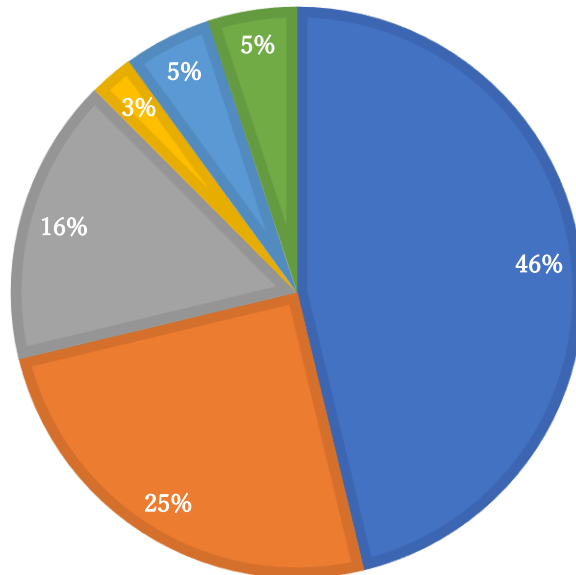
65+ 部位別,対応件数 (69件) の割合

■肩 ■手指 ■腰 ■股関節 ■大腿後面 ■大腿前面 ■膝関節 ■下腿後面 ■足関節 ■足部



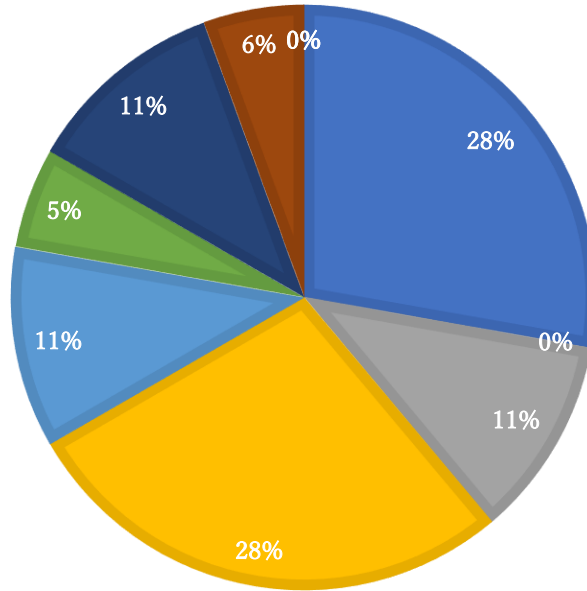
65+ 処置内容

■テーピング ■ストレッチ ■アイシング ■創処置 ■物理療法 ■傷害相談



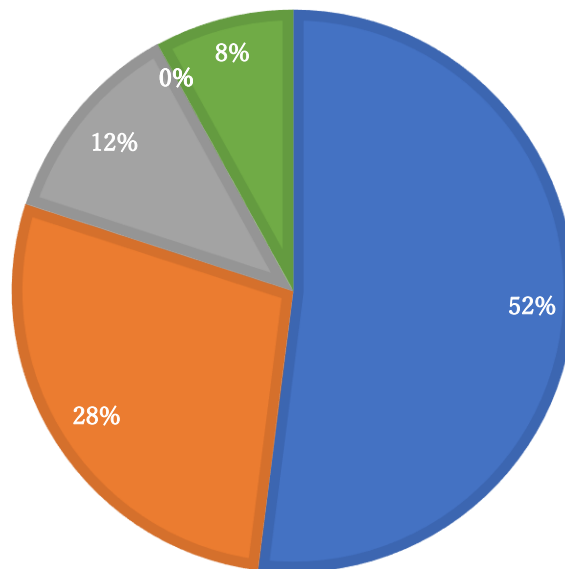
70+ 部位別,対応件数（18件）の割合

■ 肩 ■ 手指 ■ 腰 ■ 股関節 ■ 大腿後面 ■ 大腿前面 ■ 膝関節 ■ 下腿後面 ■ 足関節 ■ 足部



70+ 処置内容

■ テーピング ■ ストレッチ ■ アイシング ■ 創処置 ■ 物理療法 ■ 傷害相談



活動風景



テーピング



フィジオによるストレッチ



テーピング



フィジオと共にリハビリ



物理療法（マイクロカレント）



セルフストレッチ